

あ と が き

2009年（平成21年）度 第17回岡山県国際理解教育研究大会並びに第3回全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会中国ブロック大会は、2010年（平成22年）1月22日、矢掛町教育委員会の協力を得て、町内の6校園を会場とした公開授業・公開保育を午前中に行い、午後には全体会、分科会と講演会をやかげ文化センターで行いました。

少し寒くはありましたが、お天気にも恵まれ、250名を超える方々が熱心に授業参観及び午後の会に参加されました。公開授業・保育では、英語・英語活動、国語、社会、家庭、総合的な学習の時間、そして道徳と、様々な教科領域を通して、主題である「世界の中の日本、学び合う国際理解教育」（国語、英語、心でつなぐ ふるさと矢掛町、日本、世界）に迫る授業を各校園の特色を活かして行いました。参観された先生方には、そのことがよくご理解できたのではないのでしょうか。反面、授業をされた先生方には、当日まで多々ご苦労があったことと思います。すばらしい公開授業をご提供していただき、誠にありがとうございました。

続いて行われた午後の発表会では、開会行事の後、2つの分科会に分かれ実践発表と研究協議が行われました。第1分科会の「国際理解教育」、第2分科会の「外国語活動」共に、矢掛町の実践発表者を含めて4人の方が実践発表しました。第1分科会では、海外派遣経験者が派遣先での経験を中心に国際理解教育のあり方を様々に発表しました。また、第2分科会では、英語を中心とした外国語の教育実践を映像資料も交えて詳しく発表しました。これは、今後教科に位置づけられる外国語（英語）の授業実践のために大いに参考になったと思います。

その後、大妻女子大学教授であり早稲田大学講師でもある服部孝彦先生より「これからの小学校外国語教育」の演題でご講演いただきました。ワークショップ中心の体験的な活動が中心で、話される内容は大変実践的でした。先生は私たちに英語の面白さを伝え、教育活動におけるキーポイント「コミュニケーション能力とは」に関する事柄をいくつか伝授してくださいました。これらは平成23年度完全実施に向け動いている「小学校における外国語活動」へのよりよい指針となりました。

また、矢掛町内各幼稚園・小学校・中学校・高等学校によるポスターセッションや派遣教員による各国の紹介や物品の展示コーナーも設けられ、各校園の日々の活動や様子の紹介や派遣教員の海外での様子が広く紹介され、多くの参加者の興味・関心を引きました。

ところで、ここ1、2年続く世界的な経済不安定状況に、諸外国と共に日本も翻弄されています。これは、今後の教育活動にも大きな影響があるものと思われます。しかし、本会が提唱する「国際理解及び海外子女教育の推進」は、今後も大変重要な教育活動の一つに変わりはなく、今後さらに重要性を増すものと思われます。

そうした中、平成22年度は、山口県において次期中国ブロック大会が開催される予定となっています。次大会の成功と本会のさらなる発展を望んでいます。

最後に、本研究大会を開催するにあたって、ご後援いただいた文部科学省、岡山県教育委員会他、多くの関係機関をはじめ、本大会の開催のためにお力添えいただいた矢掛町教育委員会並びに町内各校園の教職員の皆様方、各委員並びに関係諸氏に心から感謝とお礼を申し上げます。

2010（平成22）年3月1日
編集部担当副会長 多田 賢一

第17回	岡山県国際理解教育研究大会報告書
発行	2010（H22）年3月30日
発行責任者	岡山県国際理解教育研究会
	会長 山本 正
事務局	岡山市立岡南小学校
	TEL 086-225-3526

※この研究大会は、福武教育振興財団の助成を受けています。